

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【公表番号】特表 2019-512672 (P2019-512672A)

【公表日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2019-018

【出願番号】特願 2018-543605 (P2018-543605)

【国際特許分類】

G 0 1 N 1/10 (2006.01)

A 6 1 F 5/453 (2006.01)

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 1/10 V

A 6 1 F 5/453

A 6 1 B 10/00 5 0 0

A 6 1 B 5/00 N

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

尿採取器装置であって、

穴の空いた筐体；

前記筐体内に位置づけられるディスク；

前記筐体内の近位エントリーに接続され、かつ、前記筐体内で終端する、流体を收容するための尿採取管であって、前記尿採取管の径方向に延びた遠位端部が、前記尿採取管の前記延びた遠位端部を固定するために前記ディスクの周囲に位置づけられた、尿採取管；

前記尿採取管に空気を注入するために前記ディスクを介して取り付けられた少なくとも 1 つの通気弁；

相互接続管であって、前記尿採取管と前記相互接続管の内部の吸引レベルを確立するための相互接続管、

を含み

前記相互接続管の近位端部は前記筐体の遠位エントリーを介して前記筐体内に延び、前記筐体内で固定され、前記相互接続管は前記ディスクを介して延び、前記尿採取管の前記遠位端部内で終端し、

前記相互接続管の遠位端部は前記流体を採取するためにキャニスター内で終端するように構成される、尿採取器装置。

【請求項 2】

前記筐体は空気が筐体に入るのを可能にする複数の空気孔を含む、請求項 1 に記載の尿採取器装置。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの通気弁の各々は、前記筐体の内部から前記通気弁を通して前記尿採取管へ至る空気の流れを提供する、請求項 1 に記載の尿採取器装置。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの通気弁の各々は、前記尿採取管から前記通気弁を通して前記筐体の内部へ至る空気の流れを防ぐために閉じられる、請求項 3 に記載の尿採取器装置。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの通気弁は 2 つの通気弁を含む、請求項 1 - 4 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 6】

前記尿採取管は内部リブを含む、請求項 1 - 5 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 7】

前記尿採取管は女性の尿道と接続するように弾性的に適合する、請求項 1 - 6 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 8】

前記尿採取管の近位端部は吸引の改善のために広がっている、請求項 7 に記載の尿採取器装置。

【請求項 9】

前記尿採取管の近位端部は、男性の尿道を密封するか、あるいは、女性の尿道を密封するように輪郭形成される、請求項 1 - 8 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 10】

前記尿採取器装置のインターフェース部分は、男性の尿道、あるいは、女性の尿道と接続するように構成される、請求項 1 - 9 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 11】

前記尿採取管は、前記尿採取管に対して軸方向に前記ディスクを適所で保持するために前記ディスクの回りに張り巡らされる、請求項 1 - 10 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 12】

前記尿採取管は柔軟なエラストマー材料を含む、請求項 1 - 11 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 13】

前記尿採取管は透明な材料を含む、請求項 12 に記載の尿採取器装置。

【請求項 14】

前記ディスクは、前記相互接続管の近位端部を受け入れる中心穴を有する、請求項 1 - 13 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 15】

前記少なくとも 1 つの通気弁の各々は前記筐体内に含まれる、請求項 1 - 14 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 16】

前記ディスクは、前記少なくとも 1 つの通気弁の各々を受け入れるための開口部を有する、請求項 1 - 15 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 17】

前記少なくとも 1 つの通気弁は、前記ディスク内の中心穴の回りに位置づけられた少なくとも 2 つの通気弁を含む、請求項 1 - 16 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 18】

前記少なくとも 1 つの通気弁は、前記ディスクの平面に対して角度をなして前記ディスクを通して延びる、請求項 1 - 17 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 19】

前記筐体が球状である、請求項 1 - 18 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 20】

流体を検知したときに信号を生成するように構成されたセンサーをさらに含む、請求項 1 - 19 のいずれか 1 つに記載の尿採取器装置。

【請求項 21】

前記センサーが前記信号を無線送信するように構成される、請求項 20 に記載の尿採取器装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

図 1 および図 2 に示されるように、インターフェース部分 (110) は尿道 (男性または女性) と接続するように適応されて、そのため、放出された尿を受けることができる (図 2 の「流体」と表示の矢印を参照)。図 1 および 2 は、尿管 (尿採取管) (10) の近位開放端部 (12) へと挿入されるペニス 5 を示す。尿管 (尿採取管) (10) はシリコンゲルなどの透明で柔軟なエラストマー材料であってもよい。尿管 (尿採取管) (10) 内の内部リブ (16) が示されており、このリブがペニス (5) 周囲の尿管 (尿採取管) (10) の把持を改善するため、後述されるように、ペニス (5) は吸引動作によって尿管 (尿採取管) (10) に、漏れがあるにしてもほとんどない状態で固定されると指摘されている。さらに、球状の筐体 (30)、空気を筐体 (30) に導入させる空気孔 36、および尿管 (尿採取管) (10) を強く把持する、筐体 (30) 内の近位エントリー (32) も示されている。